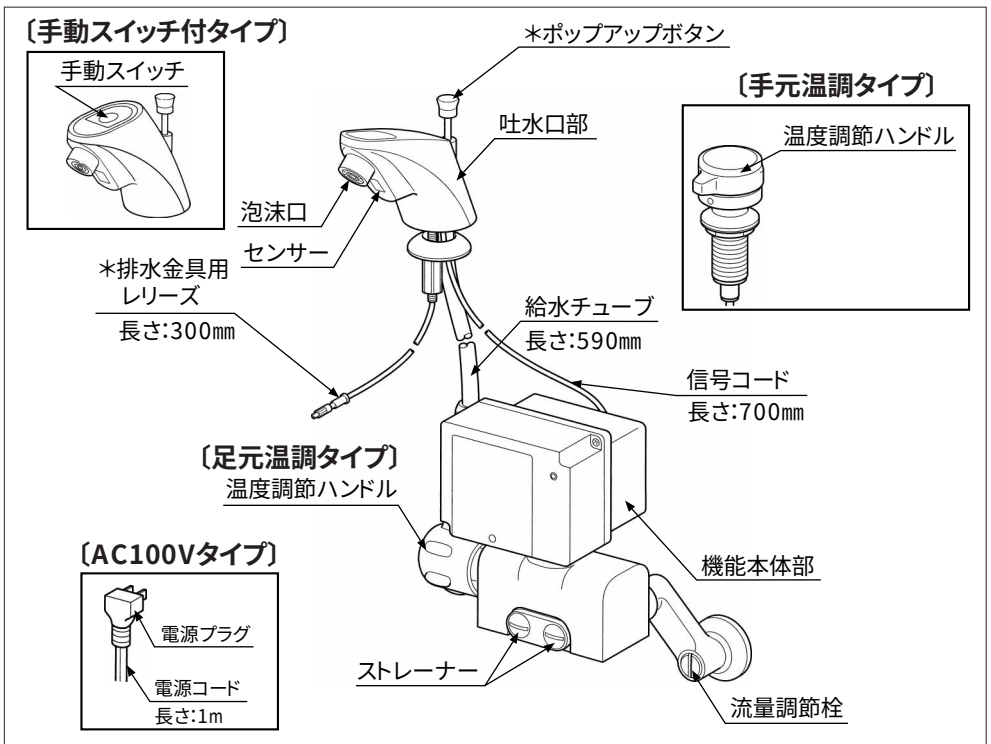
施工説明書

オートマージュ
サーモスタット付自動水栓

AM-40K　AM-40K(100V)　AM-42K(100V)
AM-41K　AM-41K(100V)　AM-43K(100V)
AM-45　AM-45(100V)　AM-46(100V)

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。
なお施工完了後、この説明書を同梱の「ご愛用フォルダー」に入れてお客さまにお渡しください。

●各部の名称



＊ポップアップボタン、排水金具用レリーズはポップアップなしタイプにはありません。

●品番一覧

品番	仕様			
	電源	手動スイッチ	温調ハンドル	ポップアップ
AM-40K	アクエナジー（発電機付）	なし	足元	なし
AM-41K				あり
AM-45			手元	
AM-40K（100V）	AC100V		足元	なし
AM-41K（100V）				あり
AM-45（100V）			手元	
AM-42K（100V）		あり	足元	なし
AM-43K（100V）				あり
AM-46（100V）			手元	

●仕様

		アクエナジー（発電機付）タイプ	AC100Vタイプ
電源	主電源	DC3.6～4.5V [ニッカド充電池]	AC100V　50／60Hz
	バックアップ	DC4.5V [アルカリ単3乾電池3本]	—
消費電力		アルカリ乾電池単3×3本で 使用回数に関係なく2年 （乾電池の使用推奨期限）	常時0.7W（50Hz） 0.5W（60Hz） 作動時：2W以下
使用圧力範囲		0.06～0.60MPa {0.6～6.1kgf／㎠}	
使用水		上水	
使用環境温度範囲		0～40℃	
使用環境湿度範囲		90%RH以下	
適正流量範囲 （使用可能流量範囲）		5～8L/分 （4～10L/分）	
感知方式		赤外線センサー	
感知距離 （グレーカード：80㎜角）		機能本体部の設定スイッチにより2段階切替え 約115㎜（洗面器用）出荷時設定 約　90㎜（手洗器用）現場で切替え	
感知エリア幅		Φ60㎜以下（センサー窓より60㎜の位置）	
感知角度		前方50°	
電源コード長さ		—	1m
給水（給湯）接続		PJ1/2	

●安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共にお客さまで保管いただくよう依頼してください。

用語の説明

警告・・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。

注意・・・・ 取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

⚠ 警　告

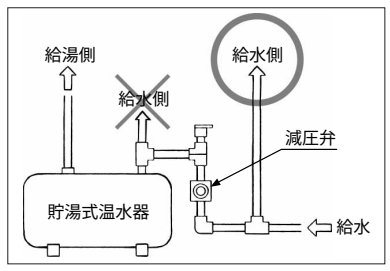
修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※発火したり、異常作動してケガをすることがあります。	水につけたり、水をかけないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の恐れがあります。

⚠ 注　意

バスルーム等の水のかかる所や、表面に水滴を生じるような湿気が多いところでは使用しないでください。 ※発火、ショート、感電、故障の原因となります。	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。 ※電源コードが破損し、発火、ショート、感電の原因となります。 （AC100Vタイプの場合）
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントへの差込みがゆるいときは使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。 （AC100Vタイプの場合）	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。 （AC100Vタイプの場合）
上水道以外は使用しないでください。 ※器具の内部腐食により、発火、ショート、感電、故障の原因となります。	交流100V以外では使用しないでください。 ※発火、ショート、感電の原因となります。 （AC100Vタイプの場合）
湯水を逆に配管しないでください。 ※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。	

●使用条件

●給水・給湯圧力は以下の条件を守ってください。
{給水圧力…0.06～0.60MPa {0.6～6.1kgf/㎠}
{給湯圧力…0.06～0.60MPa {0.6～6.1kgf/㎠}
給水圧力は給湯圧力より必ず高くなるようにしてください。給水圧力が0.60MPa {6.1kgf/㎠} を超えるような高圧の場合は、市販の減圧弁等で適正圧力（0.2MPa {2.0kgf/㎠} 程度）に減圧してください。
[貯湯式温水器と組み合わせる場合]
オートマージュの給水接続は右図の〇印のように、貯湯式温水器付属の減圧弁の1次側から取り出してください。
※右図の×印のように、貯湯式温水器の2次側から給水を取り出すと、流量不足により発電機の性能が発揮できません。



※設置場所の使用人員、使用形態を把握し、十分な給湯能力の給湯器を選択してください。給湯能力が不足すると湯切れにより流量が4L/分以下となり、発電機の能力が十分発揮されません。
●給湯温度は60℃以上に設定してください。
※安全のため50℃以上の湯は出ないようになっています。
●給湯に蒸気は使用できません。
●給水・給湯を逆に配管しないでください。

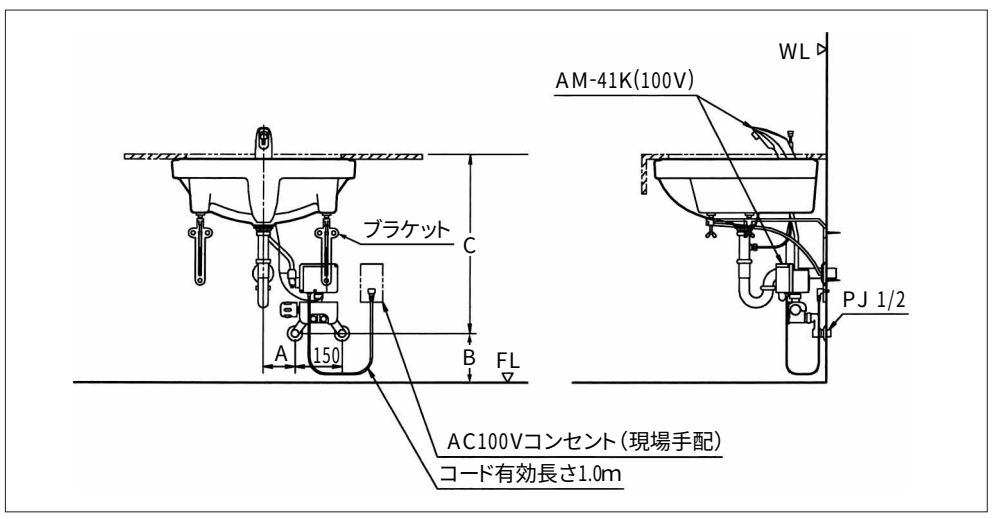
●施工寸法

陶器によって取付寸法が異なります。
下表を参照のうえ取り付けてください。

陶器の種類	ブラケット	A寸法	B寸法	C寸法
手洗器	なし	100	310	450
洗面器	なし	100	270	450
	あり	100	170	550

●施工例

〔AM-41K(100V)＋L-2094FCの場合〕



株式会社INAX

本　社　☎0569-35-2700
北海道支社　☎011-271-1713
東北支社　☎022-301-1701
首都圏統括支社　☎03-5541-7111
関東支社　☎048-668-1177
甲信支社　☎0263-36-2166
中部統括支社　☎052-201-1717
北陸支社　☎076-264-1710
関西統括支社　☎06-6539-3500
中国支社　☎082-223-1710
四国支社　☎087-821-1701
九州支社　☎092-282-3154

●商品・施工方法についてのお問い合わせ
㈱INAX「お客様相談センター」☎0562-31-0793
受付時間　平日　9:00～19:00
土日・祝日 10:00～18:00
（夏季、年末年始の休みは除く）

●施工前のご注意

●給水は必ず上水としてください。中水及び異物を多く含む水は使用できません。
●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確認してください。
※逆配管では温度調節ができません。
●水栓を取り付ける前に必ず配管中の異物を完全に洗い流し、空気を完全に抜いてください。
●取り付けられる陶器が取付可能洗面器であることを確認してください。(取付可能洗面器一覧表参照)
※取付可能洗面器一覧表に記載されていない洗面器への取付けは、誤作動することがありますので使用できません。

〔取付可能洗面器一覧表〕

自動水栓製品品番	陶器		
	分類	品番	取付穴
AM-40K AM-40K(100V) AM-42K(100V)	手洗器	L-14	AN, N
		L-15	AG, G
		L-62	ANC, AN, N, FC
		L-80	AG, G
	洗面器	L-103	AG
		L-132	AG, G
		L-143	AG, G
		L-176	AG, G, AN, N, AP, P
		L-365	APR, APRS, FCPR, FCPRS
		L-2094	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2095	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2145U	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2149	AG, G, ANC, AN, N, AP, P, APR, APRS, FCPR, FCPRS
		L-2160	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2162	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2394	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2584	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
		L-2594	AG, G, ANC, AN, N, AP, P
AM-41K AM-41K(100V) AM-43K(100V)	洗面器	L-176	FCR, FCRS
		L-365	FC, FCS
		L-2094	FC, FCS, CL, CD
		L-2095	FC, FCS, CL, CD
		L-2145U	FC, FCS, CL, CD
		L-2149	FC, FCS, CL, CD
		L-2160	FC, FCS, CL, CD
		L-2162	FC, FCS, CL, CD
		L-2291	FC, CL
		L-2292	FC, CL
		L-2295	FC, CL
		L-2394	FC, FCRS, CL, CD
		L-2584	FC, CR, CRS
		L-2594	FC, FCRS, CL, CD
AM-45 AM-45(100V) AM-46(100V)	洗面器	L-176	EC
		L-365	EC, ENS
		L-2094	EC, CR, CD
		L-2095	EC, CR, CD
		L-2145U	EC, ECS, CR, CD
		L-2149	EC, ECS, CR, CD
		L-2160	EC, CR, CD
		L-2162	EC, CR, CD
		L-2291	CR, CD
		L-2292	CR, CD
		L-2295	CR, CD
		L-2394	EC, EN, CR, CD
		L-2584	EC, CR, CRS
		L-2594	EC, CR, CD

手洗器に設置される場合はセンサー感知距離の切替えが必要です。(「5.センサー感知距離の切替え」の項参照)

●取付けに必要な専用工具「KG-23」、「KG-4」(手元温調タイプのみ)をあらかじめご用意ください。
●開梱、取付けの際には商品の表面にキズを付けないように注意してください。
●機能本体部は必ず正しい向きに取り付けてください。
※横にしたり、逆さに取り付けますと誤作動の原因となります。
●電気製品ですので機能本体部に水をかけないようにご注意ください。
●センサーの表面を傷つけないように十分ご注意ください。
●水栓の機能を十分に発揮させるため、流量調節栓を絞って、流量5～8L/分程度にしてください。(「流量の調節」の項参照)
●インバーター照明により誤作動する場合があります。
●太陽の直射日光が当たらないところに設置してください。

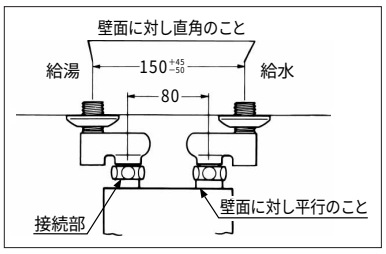
《AC100Vタイプの場合》
●万が一の危険防止のため、電源の一次側に1ケ所漏電しゃ断器を設置してください。
●電源線はΦ1.6㎜又は2.0㎜以上のものをご使用ください。(現場手配)
●電気工事は必ず電気工事店に依頼してください。
●水道工事と電気工事は十分工程を打ち合わせのうえ行ってください。
●電源コードの長さは1mです。コンセントは電源コードの届く範囲で、床面より高く水のかからない位置に設置してください。
※コンセントは防滴タイプをおすすめします。

社名	品名	品番
松下電工	ガードプレート	WN7971又はWN7871
	埋込コンセント	WN1001

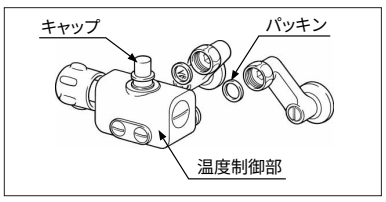
●施工方法

1. 温度制御部の取付け

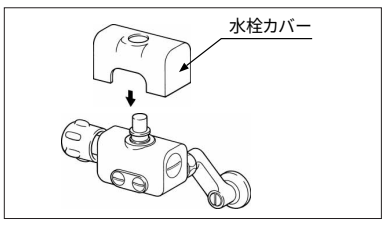
(1)配管取出位置を確認し、取付脚を取り付けます。(「施工完了図の項参照」)



(2)取付脚に温度制御部を取り付けます。
※パッキンを必ず取り付けてください。
※キャップは機能本体部を接続するまで取り外さないでください。

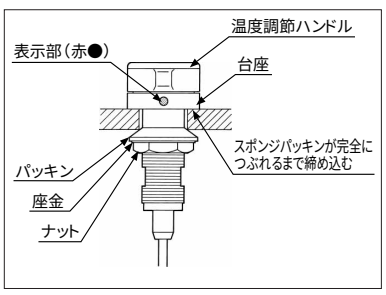


(3)水栓カバーをはめ込みます。

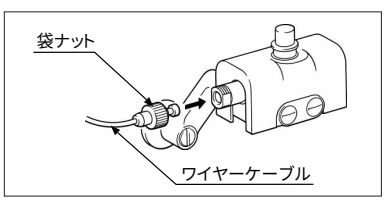


2. 温度調節ハンドル部の取付け(手元温調タイプの場合)

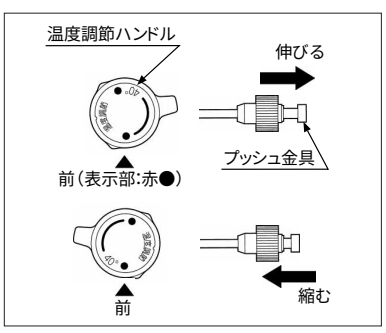
(1)台座は表示部(赤●)が正面を向くようにしっかりと固定します。
※別売の専用工具「KG-4」を使用してください。



(2)温度調節ハンドルを湯側に回し、ワイヤーケーブル先端の袋ナットを温度調節部に接続します。

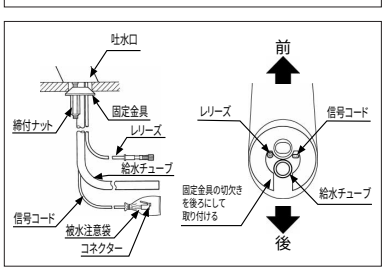


※プッシュ金具は温度調節ハンドルを水側に回すと伸び、湯側に回すと縮みます。

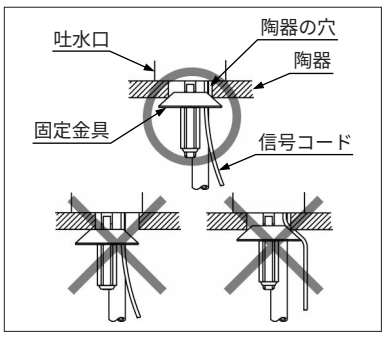


3. 吐水口部の取付け

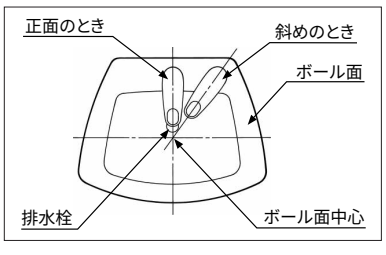
(1)吐水口部をカラン穴に挿入し、仮固定します。
※カラン穴の周囲の汚れを十分にふき取ってください。
※コネクターの被水注意袋は、機能本体部に接続するまで取り外さないでください。



※陶器の穴にはまるまで、固定金具を押し込んでから締付ナットを締め付けてください。
※締付ナットを締め付ける時に、吐水口部に力をかけないでくさい。固定金具が陶器の穴からずれてしまいます。
※信号コードを固定金具と陶器の間にはさんでいないことを確認して固定してください。はさんだまま固定すると、信号コードが断線する恐れがあります。



(2)吐水口の先端をボール面の中心に向け、しっかりと固定します。
※取付方向が適切でないとボール面を感知し、誤作動する恐れがあります。
※別売の専用工具「KG-23」もしくは、市販のソケットレンチ(呼び13)を使用してください。



4. 排水金具・レリーズの取付け(ポップアップ付きタイプの場合)

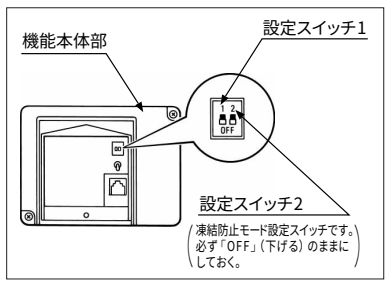
プッシュワンウェイ式排水金具に同梱の施工説明書を参照のうえ、排水栓と吐水口側のレリーズを接続します。

5. センサー感知距離の切替え（手洗器へ取り付ける場合）

出荷時、センサー感知距離は洗面器に合うように設定されています。手洗器に取り付ける場合は、**機能本体部の左側の設定スイッチ1を「OFF」（下げる）**にします。

※取付可能洗面器一覧表で、取り付けられる手洗器を確認してください。

※感知距離の切替えがされない場合、手洗器のボール面を感知し誤作動する原因となります。

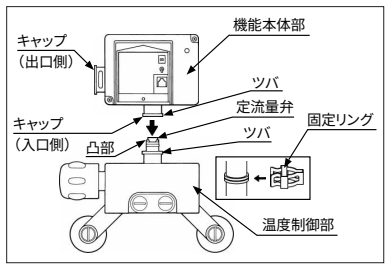


6. 機能本体部の取付け

⑴温度制御部のキャップと、機能本体部の入口側のキャップを取り外します。

⑵機能本体部を必ず正面を向くように温度制御部のツバと機能本体部のツバが接するまで差し込みます。

⑶付属の固定リングを接続部（ツバ部）にはめ込みます。

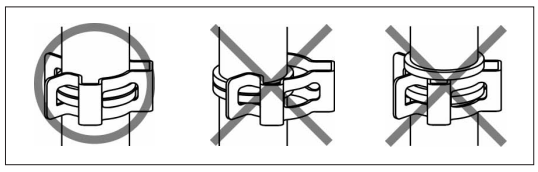


※機能本体部の出口側のキャップは接続エルボを接続するまで取り外さないでください。

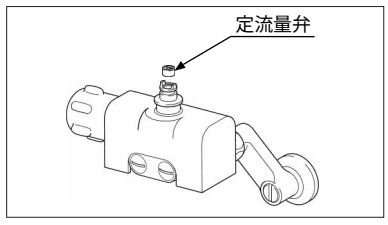
※温度制御部の凸部が機能本体部の入口内部の溝に一致しないと最後まで差し込むことができません。無理に差し込まないでください。

※最後まで差し込むと、回り止めが付いていますので回すことはできません。無理に回さないでください。

※確実に接続されていることを確認してください。誤って取り付けると漏水の原因となります。



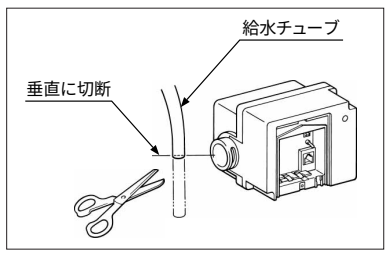
※AC100Vタイプの場合は、給湯圧力が低い現場では流量不足により十分な性能が発揮できないケースが考えられます。この場合は定流量弁を外して使用してください。
（給湯圧力が0.1MPa {1.0kgf/㎠} に満たない場合）



7. 吐水口部と機能本体部の接続

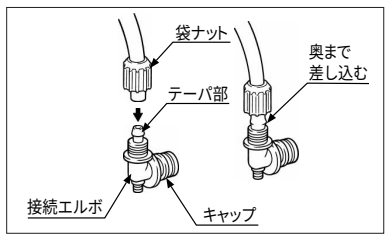
[給水チューブの接続]

⑴給水チューブが折れ曲がらないように必要な長さを確認し切断します。

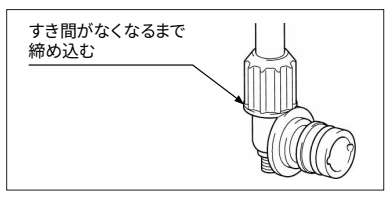


⑵給水チューブに袋ナットを通した後、接続エルボのテーパ部を差し込みます。

※接続エルボのキャップは機能本体部に接続するまで取り外さないでください。

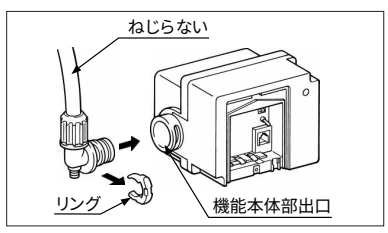


⑶袋ナットを接続エルボに手締めで締め付けます。



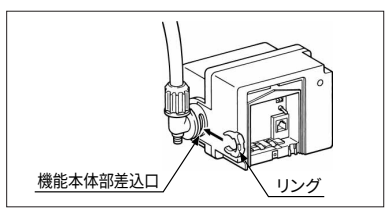
⑷接続エルボのキャップ、リングを取り外し、機能本体部の出口に差し込みます。

※給水チューブをねじらないでください。

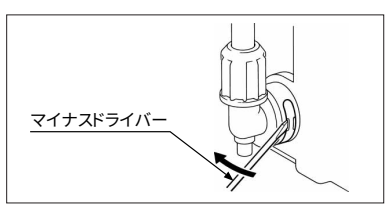


⑸リングを機能本体部の差込口に差し込みます。

※確実にはめ込んでください。



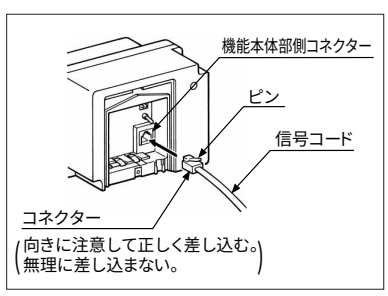
※接続エルボを外すときは、小形のマイナスドライバーでリングを抜き取ってください。



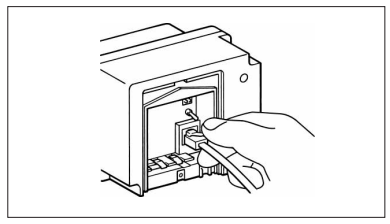
[信号コードの接続]

信号コードを機能本体部の裏側から回し、信号コード側のコネクターをピンを上にして機能本体側のコネクターに差し込みます。

※カチッと手応えがあるまでしっかりと差し込んでください。



※外すときはコネクターのピンを指で押さえながら抜いてください。



8. 乾電池のセットと電源スイッチ（アクエナジータイプの場合）

⑴付属の単三アルカリ乾電池3本をセットします。（図1）

⑵電源スイッチを「ON」（上げる）にします。（図2）

※誤感知のないことを確認してください。

図-1

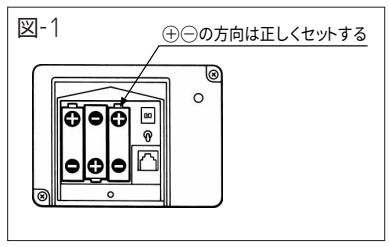
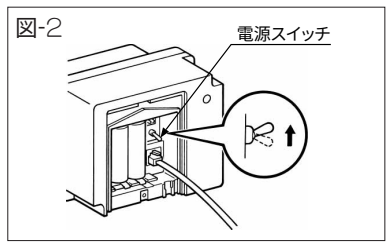


図-2



9. 機能本体部フタの取付け

⑴信号コードを溝部に沿ってはめ込みます。（図-1）

⑵フタをはめ込み、小形のプラスドライバーで取付ねじを固定します。（図-2）

⑶信号コードがたるまないように、機能本体部下のクリップに挟み込みます。（図-3）

図-1

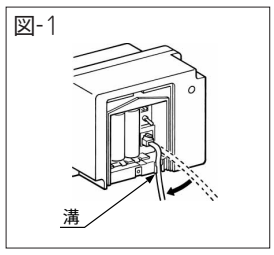


図-2

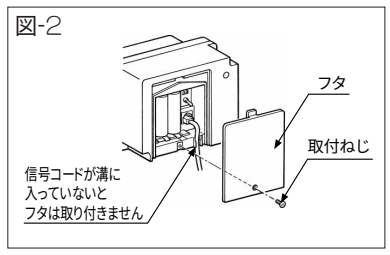
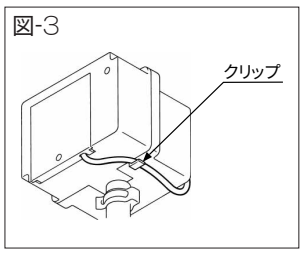


図-3

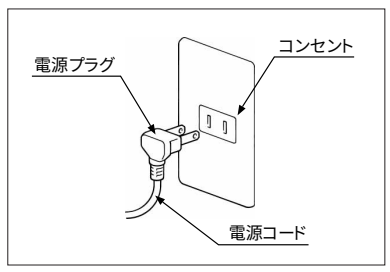


10. 電源プラグの接続（AC100Vタイプの場合）

電源プラグをコンセントに差し込みます。

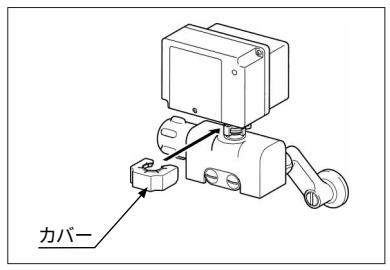
電源コードを加工したり、無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったり、束ねたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしないでください。

※電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。



11. 固定リングカバーの取付け

機能本体部と温度制御部の接続部（固定リング）にカバーを取り付けます。



●施工後の調節

1. 作動確認

■電源の確認

［アクエナジータイプの場合］⇒機能本体部の乾電池が正しくセットされ、機能本体内部の電源スイッチが「ON」（上）の位置にあることを確認してください。

［AC100Vタイプの場合］⇒電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。

■作動確認

センサーの感知エリアは下図のようになっています。感知エリアに手を差し出すと水が出て、手を引くと約１～２秒後に止まります。

※流量調節栓を一気に全開にしないでください。

※１分間吐出が続くと自動的に止水します。

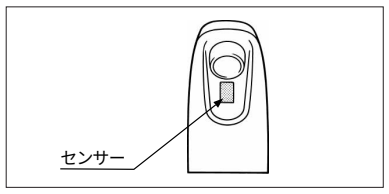
※電源スイッチを「ON」、また電源プラグを差し込んだ後、約5秒間はウォーミングアップのため作動しません。5秒経過後、作動確認を行ってください。

感知エリアに感知物がなくても水が出る場合

- 手洗器に取り付けられている場合、センサー感知距離の調節はされているか（設定スイッチ1を「OFF」）？
（「センサー感知距離の切替え」の項参照）
- 吐水口部の取付位置は適切か？
（「吐水口部の取付け」の項参照）

感知エリア	設定スイッチ
洗面器に取り付ける場合 約115mm	「ON」（上げる） 出荷時
手洗器に取り付ける場合 約90mm	「OFF」（上げる） 現場で切替えが必要

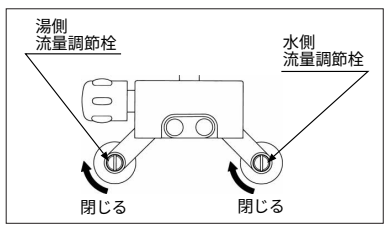
●センサー表面が汚れていないか？
汚れていた場合は、柔らかい布でふきとってください。



2. ストレーナーの掃除

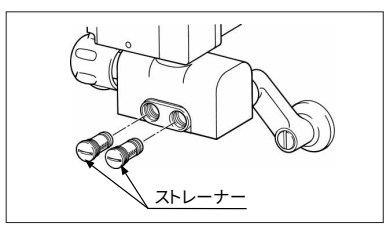
ストレーナーが詰まると流量が少なくなり、十分な機能が発揮されません。
作動確認後、必ずストレーナーを掃除してください。

⑴湯側・水側の流量調節栓を時計回りいっぱいにねじ込みます。

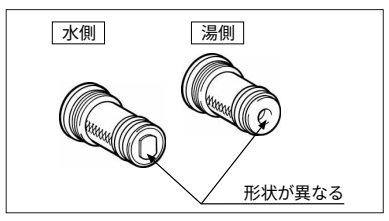


⑵吐出動作（センサー感知）を行い、圧抜き、止水確認をします。

⑶大形のマイナスドライバーでストレーナーを取り外し、ストレーナーのゴミ等を洗い流します。



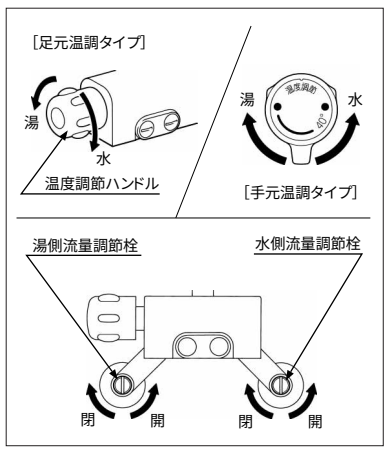
⑷ストレーナーを取り付けます。
※ストレーナーは湯側・水側で異なります。間違いのないよう取り付けてください。



3. 流量の調節

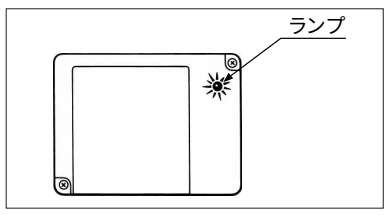
[アクエナジータイプの場合]

本品は発電機を搭載しています。
発電機の機能を十分に発揮させるために、必ず流量調節栓で流量を調節してください。
温度調節ハンドルを水側いっぱいまで回し、マイナスドライバーで水側の流量調節栓を、機能本体部のランプが点灯するように調節します。
その後、温度調節ハンドルを湯側いっぱいまで回し、湯側の流量調節栓を機能本体部のランプが点灯するように調節します。



ランプの表示状態

表示状態	流量（L/分）	吐水状態
消灯	～4	不十分
遅い点滅	4～5	やや少ない（使用可能）
点灯	5～8	適正
速い点滅	8～10	やや多い（使用可能）
消灯	10～	多い



※ランプは電源スイッチを「ON」（上げる）にしてから5分間だけ作動します。作動しない場合は、電源スイッチを「OFF」（下げる）にしてから「ON」にすると再度5分間作動します。

[AC100Vタイプの場合]

流量がいっぱいになるまで流量調節栓を開きます。
※節水のため定流量弁を装着していますので、一定以上の流量（約5L/分）は出ません。
※低圧の現場で、流量が不足する場合は定流量弁を外して使用してください。
目安：給湯圧力＝0.1MPa {1.0kgf/㎠} 未満、流量＝4L/分未満

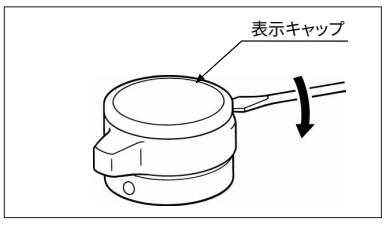
4. 温度の調節

[手元温調タイプの場合]

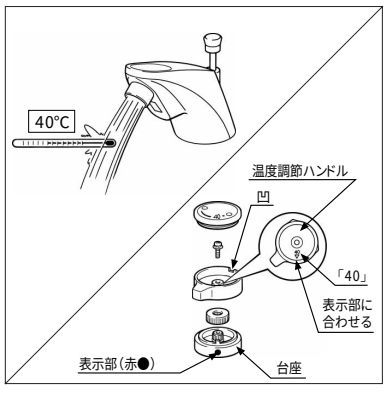
工場で調節出荷していますが圧力や給湯条件が異なると、表示通りの温度が出ない場合があります。このような場合は次の要領で調節してください。

調節方法

⑴表示キャップを小形のマイナスドライバーで取り外します。

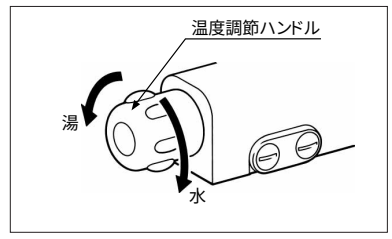


⑵吐出温度が40℃になったところで、温度調節ハンドルの「40」が台座の表示部（赤●）と一致するように温度調節ハンドルを取り付け直します。
⑶表示キャップの凸と温度調節ハンドルの凹を合わせ表示キャップをはめ込みます。



[足元温調タイプの場合]

吐出させて希望温度となるように、温度調節ハンドルを回してください。
※湯側は50℃以上出ない構造になっています。



希望温度が得られない場合は、以下のことを確認してください。

●流量調節栓は開いているか？
●ストレーナーにゴミ詰まりはないか？
●給湯温度は十分か？
●ワイヤーケーブルが接続されているか？（手元温調タイプ）

●バックアップ用乾電池について

[アクエナジータイプの場合]

水栓の使用頻度に関わらず、2年間（乾電池の使用推奨期限）電池交換なく使用可能です。2年ごとに乾電池の交換をしていただくよう、お客さまに説明ください。
交換方法は取扱説明書に記載しています。
使用頻度が多い場合は、発電する電力により、消費電力はすべてまかなうことができます。この場合、乾電池を取り外して使用することが可能になります。（詳細は「取扱説明書」参照）

●引渡前の確認

引渡前および故障時の点検は以下の要領で行ってください。

故障と点検

故障の状況	確認内容	処置方法	参照事項
吐水しない	流量調節栓は開いていますか？	流量調節栓を開く。	●施工後の調節の 3. 流量の調節
	電源スイッチは「ON」になっていますか？（アクエナジータイプのみ）	「ON」にする。	●施工方法の 8. 乾電池のセットと電源スイッチ
	電源プラグはコンセントに入っていますか？（100Vタイプのみ）	コンセントに電源プラグを差し込む。	●施工方法の 10. 電源プラグの接続
	断水中ではありませんか？	回復するまでお待ちください。	—
	停電中ではありませんか？（100Vタイプのみ）	回復するまでお待ちください。	—
	信号コードのコネクターは差し込まれていますか？	差し込む。	●施工方法の 7. 吐水口部と機能本体部の接続（信号コードの接続）
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	●施工後の調節の 2. ストレーナーの掃除 ●引渡前の確認の「泡沫口の掃除」
	センサー表面が汚れていませんか？	汚れをふき取る。	●施工後の調節の 1. 作動確認
	万一吐水しない場合は流量調節栓を閉じて、当社支社または取扱店までお問い合わせください。		
流量が少ない	流量調節栓を絞りすぎていませんか？	適正な流量まで開く。	●施工後の調節の 3. 流量の調節
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	●施工後の調節の 2. ストレーナーの掃除 ●引渡前の確認の「泡沫口の掃除」
流量が多い	流量調節栓を開きすぎていませんか？	適正な流量まで絞る。	●施工後の調節の 3. 流量の調節
高温しか出ない	水側の流量調節栓は十分開いていますか？	適正な流量まで開く。	●施工後の調節の 3. 流量の調節
低温しか出ない	給湯温度は希望吐出温度より10℃以上高くなっていますか？	10℃以上でなければ給湯温度の調節をする。	—
	水側の流量調節栓は十分開いていますか？	適正な流量まで開く。	
温度調節ができない	流量調節栓は湯、水ともに十分開いていますか？	適正な流量に調節する。	●施工後の調節の 3. 流量の調節
	ストレーナーや泡沫口にゴミ等が付着していませんか？	ゴミ等を除去する。	●施工後の調節の 2. ストレーナーの掃除 ●引渡前の確認の「泡沫口の掃除」
止水しない	センサーの前に障害物はありませんか？	障害物を取り除く。	—
	センサー表面が汚れていませんか？	汚れをふき取る。	●施工後の調節の 1. 作動確認
	万一止水しない場合は流量調節栓を閉じて、当社支社または取扱店までお問い合わせください。		

〔泡沫口の掃除〕

手で泡沫口を回して取り出し、泡沫ユニットを水で掃除してください。
※掃除した時は泡沫口をしっかり締めてください。